

「高島純展」

(1) 趣旨

「自分で話を作って絵を描く場合、描いて気持ちの良い絵にしたいというのがある。こんな絵を描きたいということをまず絵にするから、色から作品を作ってしまうこともあるよ。」「まずは、僕がこれはおもしろいな、と思って作ることが一番だと思っているね。僕がおもしろいんだから、こどももおもしろいだろうと。」(雑誌『chat』2000年12月号 vol.17 より)



自分が一番楽しめるものを描くという高島純の思いは、こんな言葉に表れています。

高島は、1983年「だれのじてんしゃ」でボローニャ国際児童図書展グラフィック賞を受賞しました。また、シルクスクリーンによる作品で、バーゼル国際美術展、ニューヨークアート EXPO 展に出品しています。

みのかも文化の森の中には、カニサイやネコギギなど高島純によるオリジナルキャラクターがいろんなところで活躍しています。人気ある絵本作家・イラストレーターとして活躍する高島純の、ユーモアある画面構成、鮮やかな色調あふれる作品の数々を紹介しました。

(2) 会期 2000年12月8日(金)～12月24日(日)

開催日数 15日間

(3) 観覧料 一般 300円(250円) 小中学生 150円(100円)

() は20名以上団体料金

(4) 会場 企画展示室

(5) 作品点数 130点 (シルクスクリーン 54点、絵本等原画 76点)

(6) 関連事業

①講演会「イメージを語る」

(12月9日 11:00～12:00 / 緑のホール / 入場無料)

講師：高島純氏(絵本作家)

②講座「クリスマスカードを作る」

(12月17日 13:30～16:00 / エントランスホール / 参加料 300円)

講師：高島純氏(絵本作家)

